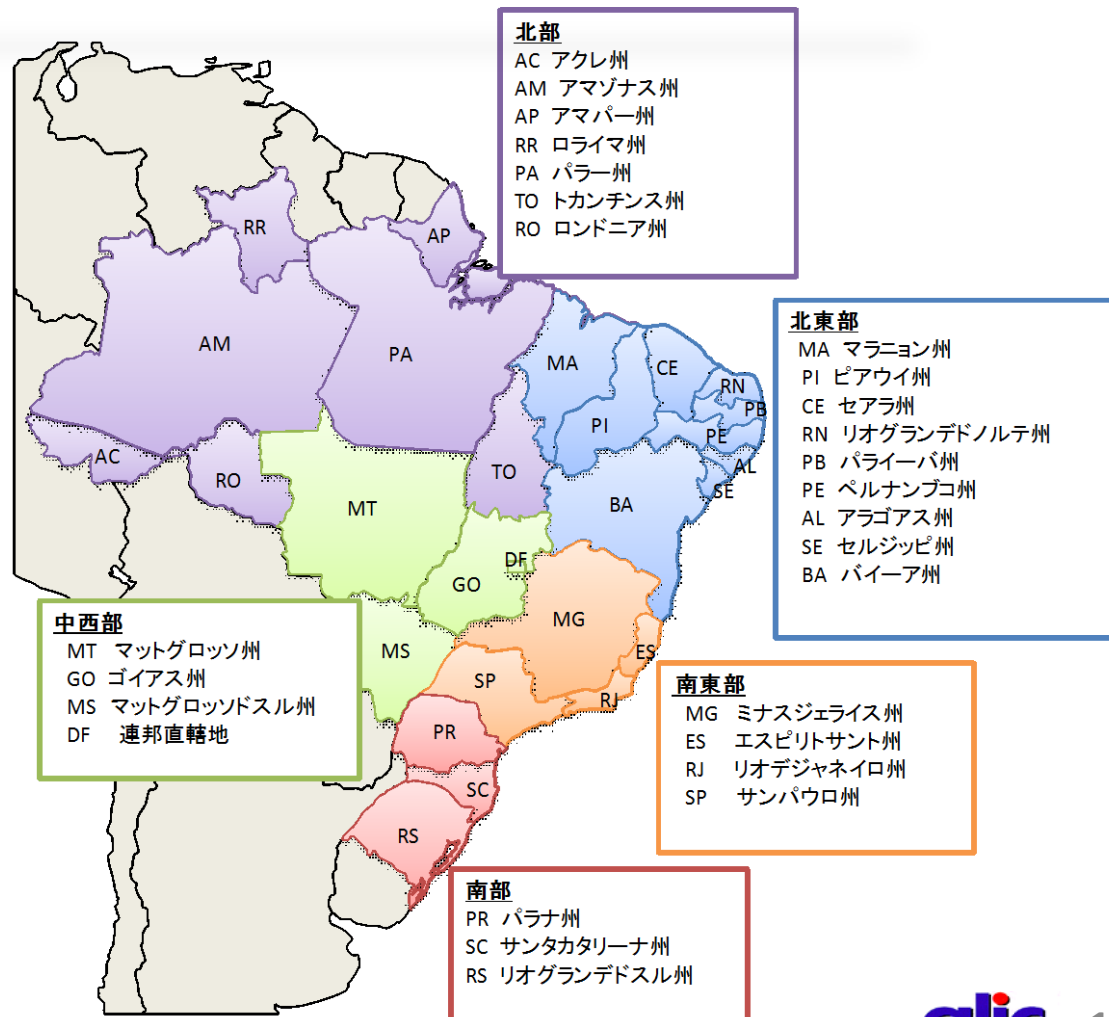


# 旺盛な輸出需要への対応を模索するブラジルの牛肉業界



平成28年10月14日（金）  
独立行政法人農畜産業振興機構  
調査情報部 米元 健太



# ◎本日の内容

- ◆ 1. 基礎情報
- ◆ 2. 牛肉生産動向
- ◆ 3. 牛肉輸出動向
- ◆ 4. 優位性と課題
- ◆ 5. 見通し&まとめ



主要品種ゼブー系ネローレ種  
(上:雨季、下:乾季)

- ◇ 本情報は、情報提供を目的とするものであり、取引・投資判断の基礎とすることを目的としていません。
- ◇ 本資料の 正確性の確認等は、各個人の責任と判断をお願いします。
- ◇ 提供した情報の利用に関して、万一、不利益を被る事態が生じたとしても、ALICは一切の責任を負いません。





# 1. 基礎情報



# ブラジルの概要

- 人口：2億445万人（2015年）
- 国土面積：851万2000平方キロメートル（日本の22.5倍）
- 1人当たり名目GDP：8,670米ドル（2015年）
- 消費者物価上昇率：9.0%（2015年）
- GDPに占める農牧畜業の割合（2015年）：4.5%
- 総輸出額に占める農牧畜業の割合（2015年）：46.2%（882億2400万米ドル）



## ➤ 政治動向：

2003年1月に誕生したルーラ政権（労働者党）は、貧困対策と経済成長に注力し、世界金融危機の影響もさほど受けずに2期8年を満了。11年に後を継いだルセフ政権（同）は、政策継続と公共サービスの向上を目指したが、景気失速により支持率が徐々に下降。

ルセフ大統領は、2選を果たしたものの、政権内の汚職が表面化して支持率が急落。結局、ルセフ大統領は政府会計の不正処理の罪で16年8月31日に弾劾裁判にかけられ、テメル副大統領（ブラジル民主運動党）が正式に大統領に就任。

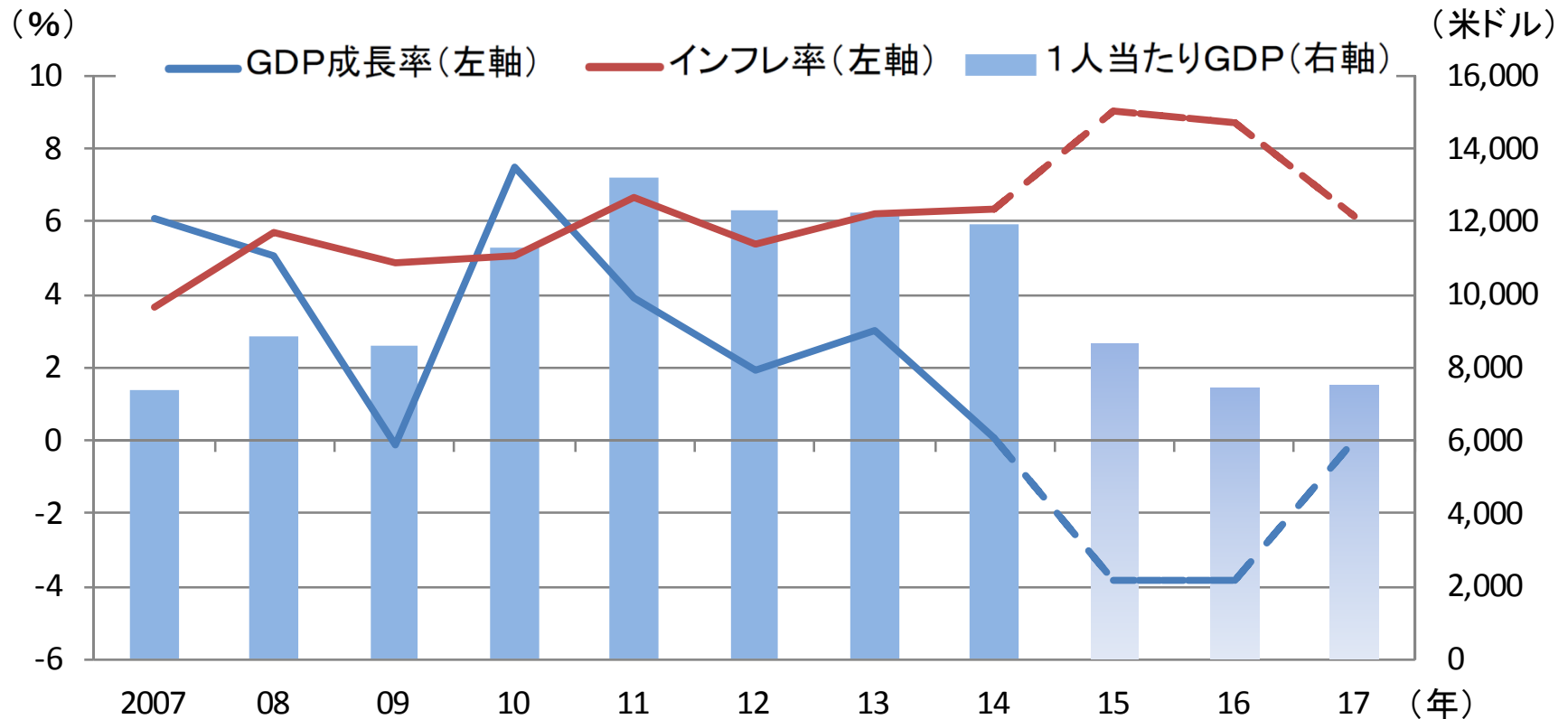


# ブラジルの経済状況の推移

## ポイント

- 2016年のGDP成長率は、1930～31年以来の**2年連続マイナス成長**が確実視
- 今後は、テメル新政権の財政引き締めおよび支出の適正化が徐々に功を奏し、2016年10～12月期以降わずかながらもプラス成長に転じる見通し

## 主要経済指標の推移



資料: IMF「World Economic Outlook Database, April 2016」 注: 2015～2017年は推定値。

# ブラジルと日本の牛肉生産・消費比較

## ポイント

- ブラジル主要品種は熱帯種（ゼブー）の**ネローレ**種で、飼養形態は放牧主体
- 飼養頭数は人口を上回る2億1000万頭強、牛肉生産量は日本の**19.9倍**
- 生産量の8割は国内消費（1人当たり年間牛肉消費量は日本の**3.4倍**）

区分	ブラジル	日本との比較	日本
飼養品種	ネローレ種、ブラーマン種など		黒毛和種、乳用種など
飼養形態	放牧、フィードロット		舎飼い
飼養頭数	2億1304万頭(2015年1月)	(85.6倍)	248万9000頭(2015年度)
と畜頭数	3836万5000頭(2015年)	(32.4倍)	118万5000頭(〃)
生産量	942万5000トン(〃)	(19.9倍)	47万4300トン(〃)
輸出量	170万5000トン(〃)	(754倍)	2261トン(〃)
輸入量	6万1000トン(〃)	(0.09倍)	69万5700トン(〃)
消費量	778万1000トン(〃)	(6.6倍)	118万5700トン(〃)
1人当たり年間牛肉消費量	30.8キログラム(〃)	(3.4倍)	9.2キログラム(〃)

資料: 米国農務省海外農業局(USDA/FAS)、農林水産省

注1: ブラジルの数値は、枝肉重量換算。

2: 日本の生産量、輸出入量、消費量は、部分肉換算の公表値を枝肉重量換算した数字。

3: 日本の1人当たり年間牛肉消費量は精肉ベース(5.8kg)の公表値を枝肉重量換算した数字。



# ブラジル牛肉フロー図（2014年）

※前述のUSDAと本頁のABIECでは、集計方法上、数字にずれがあることを、ご承知おきください。



牧草地1.69億ヘクタール（国土の2割）、飼養農家500万戸

牛飼養頭数2億800万頭（1ヘクタール当たり1.3頭飼養）

と畜頭数4250万頭、平均枝肉重量:237.7kg  
※ネローレ種の生体⇒枝肉の歩留まり、52.3～55%



輸出量  
198万トン（19.6%）

生産量:1010万トン  
※枝肉重量換算

国内消費量  
812万トン（80.4%）

生鮮牛肉（冷蔵、冷凍）  
123万トン※製品重量

ロシア25%、香港21%、ベネズエラ14%、  
エジプト13%、その他27%

加熱牛肉調製品  
10万トン※製品重量

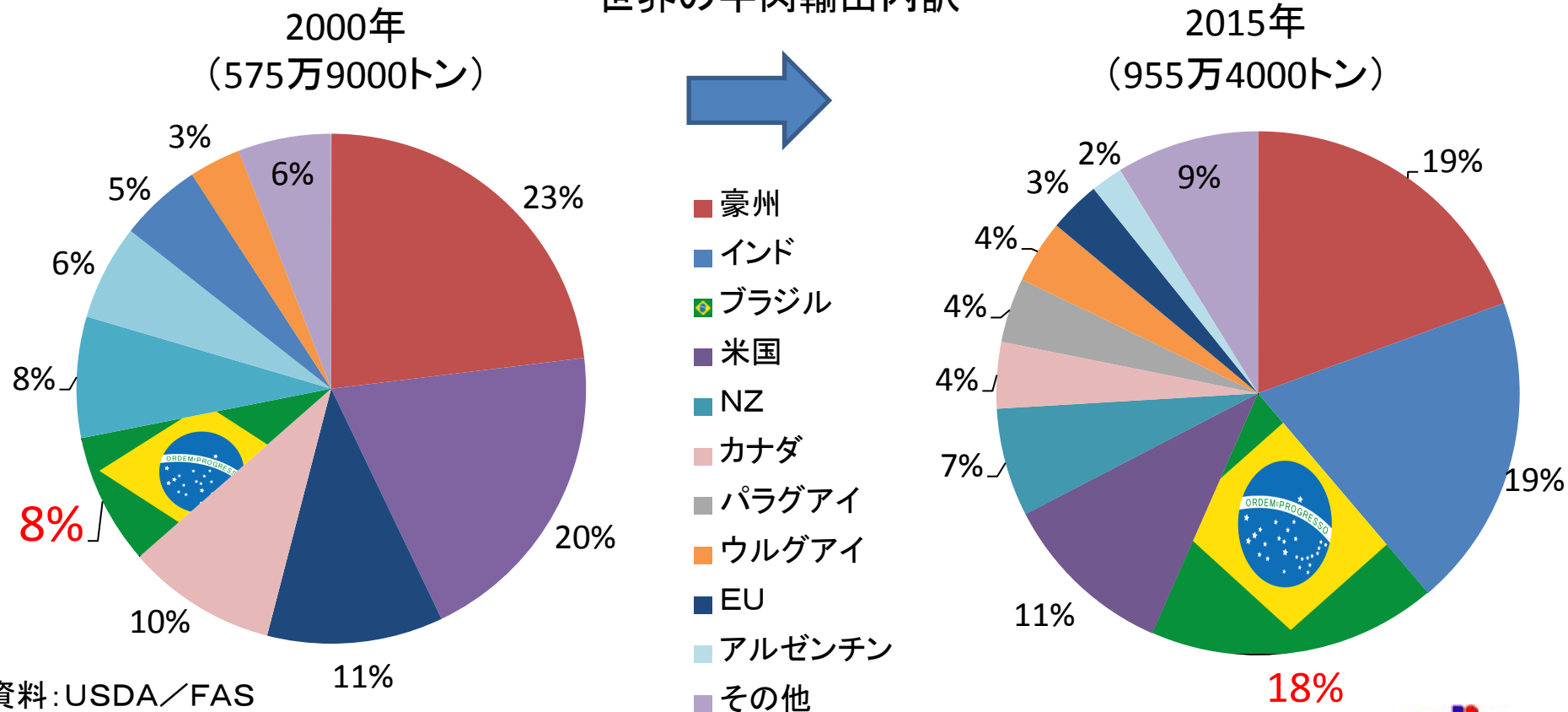
英国30%、米国21%、その他49%

# 国際市場で存在感を増すブラジル牛肉

## ポイント

- 世界の牛肉輸出量：2000年**575.9万**トン⇒2015年**955.4万**トン（1.7倍）
- ブラジルの輸出量：2000年**48万**トン ⇒2015年**170.5万**トン（**3.5**倍）
- 世界的な牛肉需要の高まりに、多分に応えているブラジル産牛肉

## 世界の牛肉輸出内訳



資料: USDA/FAS  
注: 枝肉重量換算。



## 2. 牛肉生産動向

～湿原を移動中のネローレ～

# 牛飼養地域の変遷

## ポイント

- 従来の主要飼養地は、大消費地に近い**南東部**、**南部**周辺
- 現在は地価の安い**中西部**や**北部**へ移行
- 草地面積は、日本の国土の4.5倍の1.69億ヘクタールも近年減少傾向
- 徐々に集約化が進み、2014年時点では1ha当たり**1.3頭**（1974年は、同0.6頭）

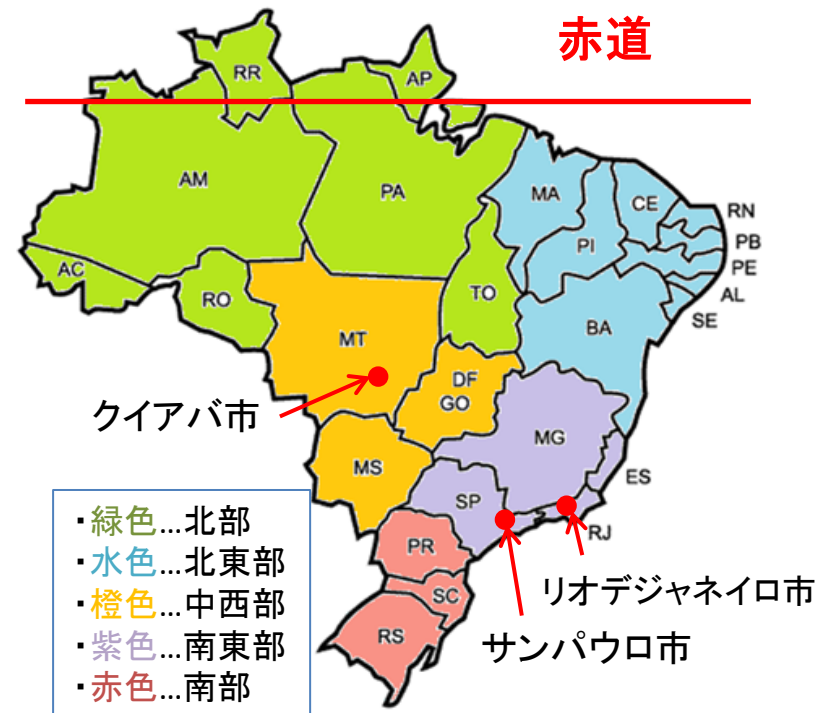
牛の地域別飼養状況

	1974年	1994年	2014年
合計頭数(千頭)	92,495	158,243	212,366
北部	2.4%	11.4%	21.6%
北東部	17.6%	14.4%	13.8%
南東部	32.9%	23.8%	18.1%
南部	22.4%	16.7%	12.9%
中西部	24.7%	33.8%	33.5%

資料: ブラジル地理統計院 (IBGE)

サンパウロ市  
(南東部サンパウロ州)  
平均気温: 20.2℃  
年間降水量: 1,454.8mm

クイアバ市  
(中西部マツグロソ州)  
平均気温: 26.6℃  
年間降水量: 1,315.1mm





# 牛肉生産の地域性

## ポイント

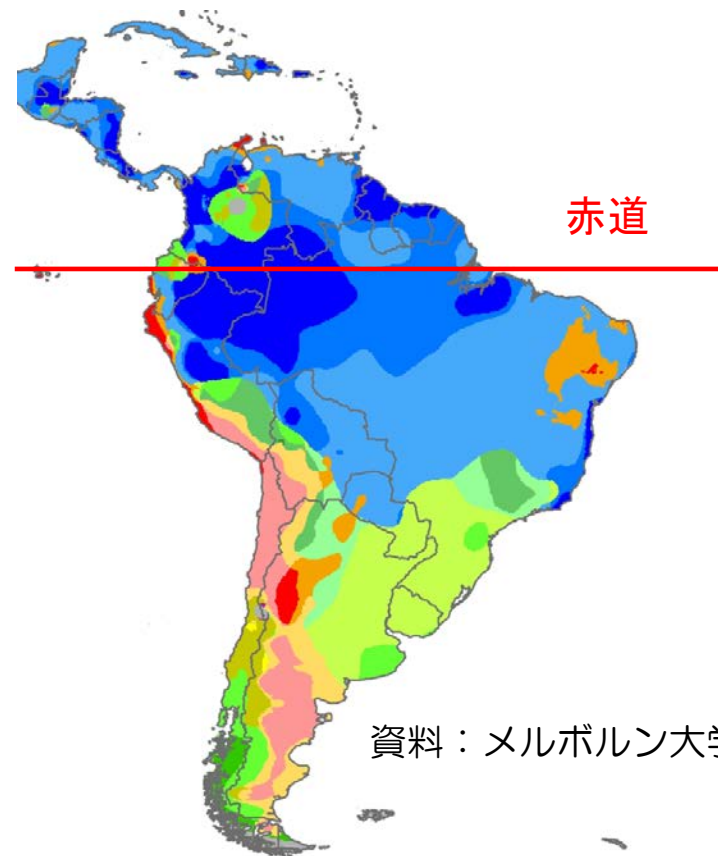
- 国土の大半は**熱帯**に区分されるので、肉用牛の品種は**熱帯種**のネローレ種が多い（交雑種も含めると、割合は9割程度とされる）
- 南部は**温帯**に区分され**温帯種**の飼養が可能（アンガス種やヘレフォード種等）  
⇒南部は耕地との競合で飼養面積が縮小傾向にあり輸出余力は乏しい

南米等におけるケッペンの気候区分

◎国土は最も広い部分で、  
東西**4,319.4 km**、  
南北**4,394.7 km**に及び

◎ケッペンの気候区分（右図）によると、

- ・ 国土の大半の気候型は**青色**の「熱帯」
- ・ 南東部の一部および南部は**緑色**の「温帯」
- ・ 北東部の一部は**オレンジ色**の「乾燥帯」

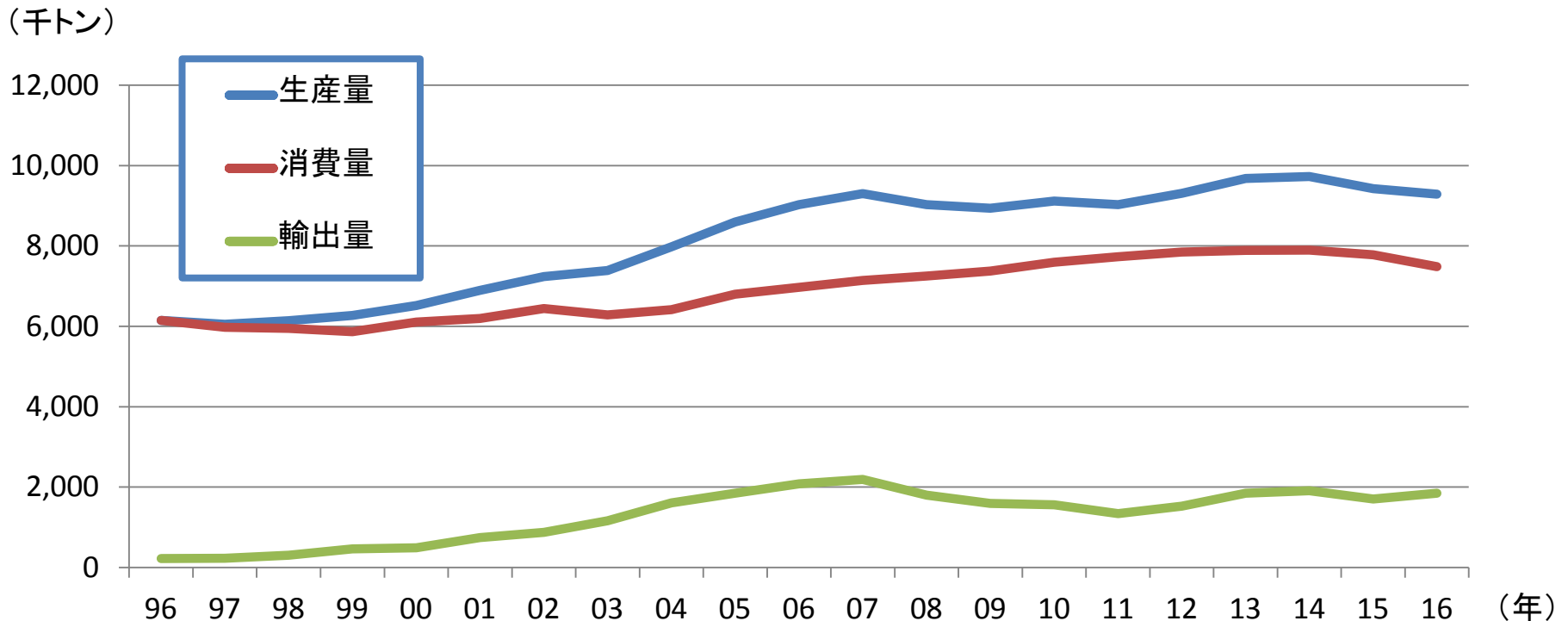


資料：メルボルン大学

# 牛肉需給の推移

## ポイント

- 2000年代に入り、内外の需要増を反映し、生産量は増加基調で推移
- 牛肉生産が拡大した背景
  - ①国内…**経済成長**に伴う消費量の増加、人口増（年率1%増）
  - ②輸出…1999年の変動相場制への移行（実質的な通貨切り下げ）による価格優位性の拡大、米国のBSE等による代替需要



資料: USDA/FAS

注: 2016年は推定値。枝肉重量換算。



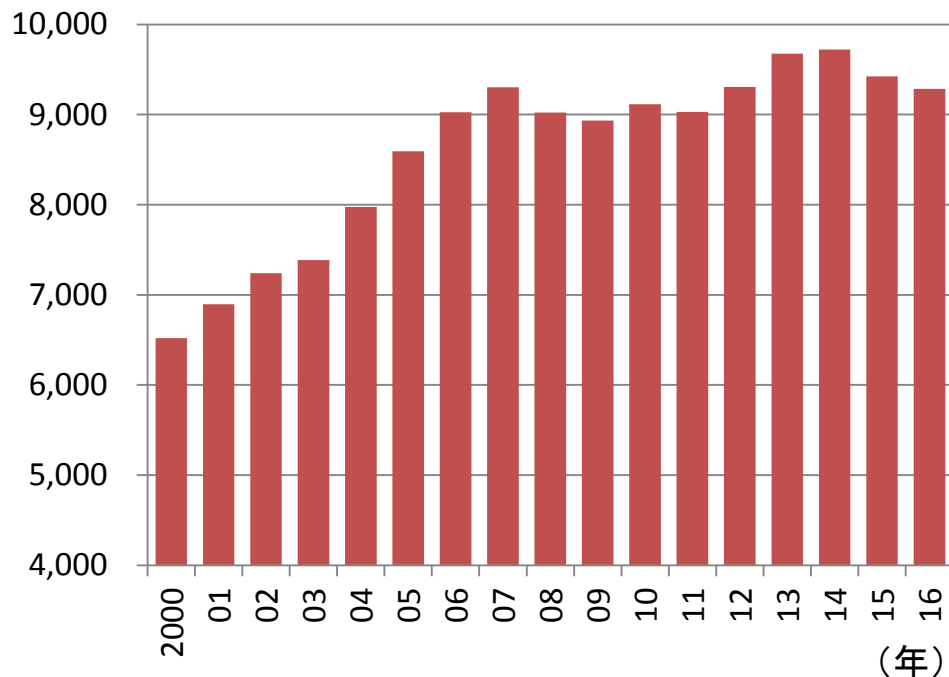
# 近年、牛肉生産が伸び悩んでいる主な要因

## ポイント

- ① 現在は、7年周期の**キャトルサイクル**で牛群再構築期間のため減産基調
- ② 近年**干ばつ**が多く、子牛生産に一部影響（肥育もと牛価格は高値で推移）
- ③ 2013～14年にかけてレアル安米ドル高による割安感から未經産牛のと畜が増加
- ④ 2015年以降、国内の**景気悪化**により牛肉消費が大きく落ち込む

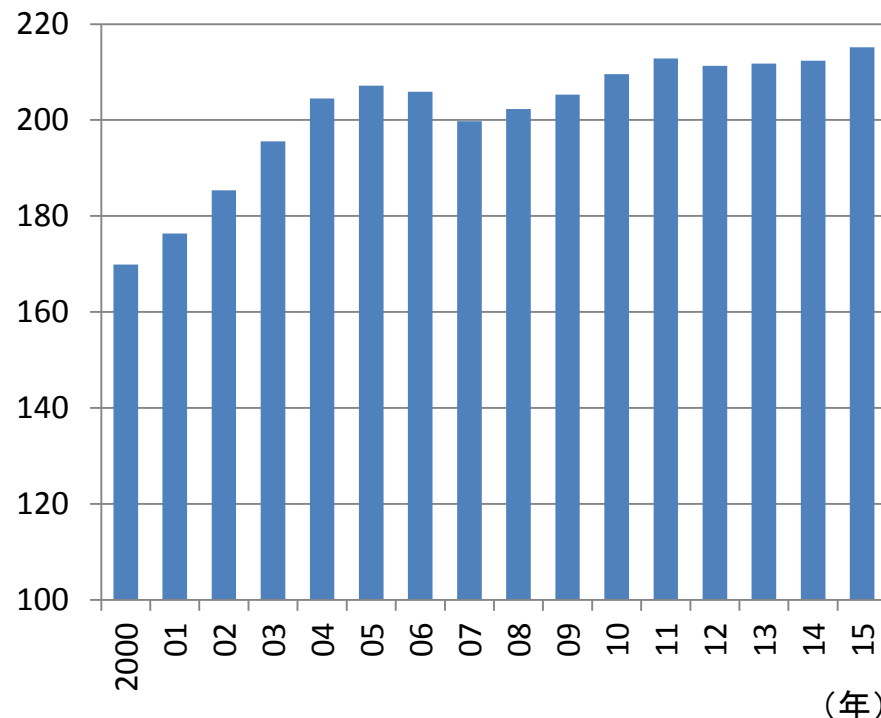
### 牛肉生産量の推移

(千トン)



### 牛飼養頭数の推移

(百万頭)



資料: USDA/FAS

注: 2016年は予測値。枝肉重量換算。

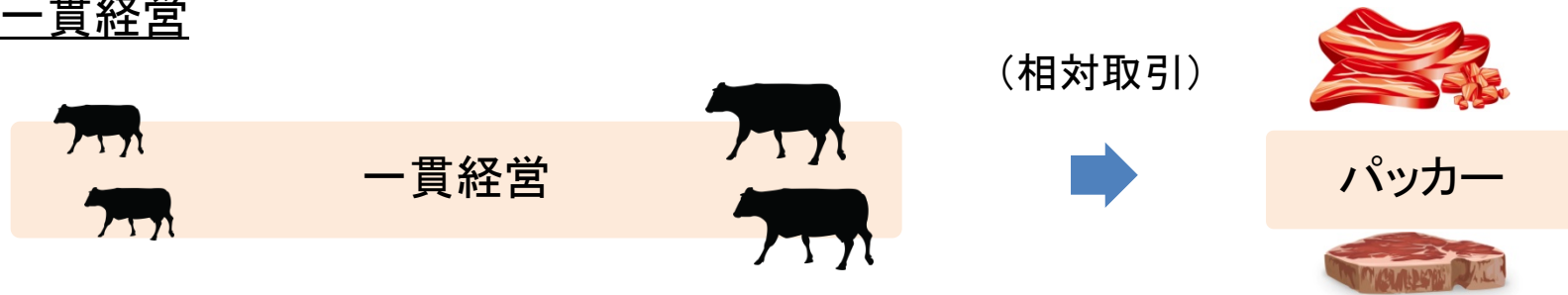
資料: ブラジル地理統計院 (IBGE)

# 牛農家の経営形態

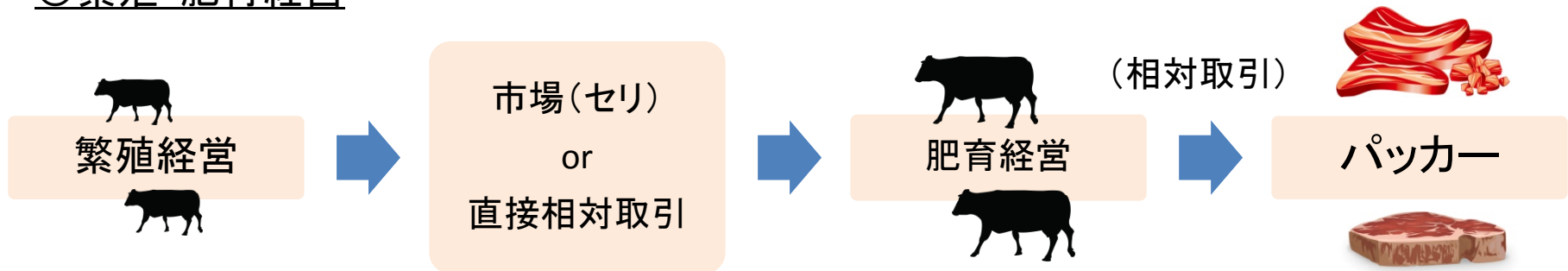
## ポイント

- 日本と同様に、繁殖、肥育、一貫経営の3タイプ
- 繁殖経営の場合、放牧が多い。肥育もと牛は、①市場、②肥育農家に出荷
- フィードロットの場合、一貫経営もあるが、肥育経営が多い

### ◎一貫経営



### ◎繁殖・肥育経営



# ブラジルにおける肉用牛（ネローレ種）の飼養の流れ

◎ **ネローレ種** (Nelore) とは...

インド南部チェンナイ原産のゼブー系乳肉兼用種。オンゴール種とも呼ばれる。四肢が長く、こぶは雄の方が大きい。**耐暑性に優れ**、ダニや風土病に強い。一方、増体は、あまり良くない。

＜子牛～哺育＞

＜育成＞

＜肥育＞

0～8カ月齢



9～24カ月齢前後



※約350キログラムまで育成

放牧：肥育期間は8カ月前後

**8割**



セミフィードロット：

肥育期間は5～6カ月前後

**1割弱**



フィードロット：

肥育期間は3カ月前後

**1割強**



資料：現地聞き取りをもとに、機構作成。

注 1：数字はおおよその月齢。

2：出荷体重は500キログラム程度。

3：アンガス種や交雑種の場合、出荷月齢はより短くなる。

4：ブラジルでは雄牛の多くは去勢されていない。



# 放牧風景

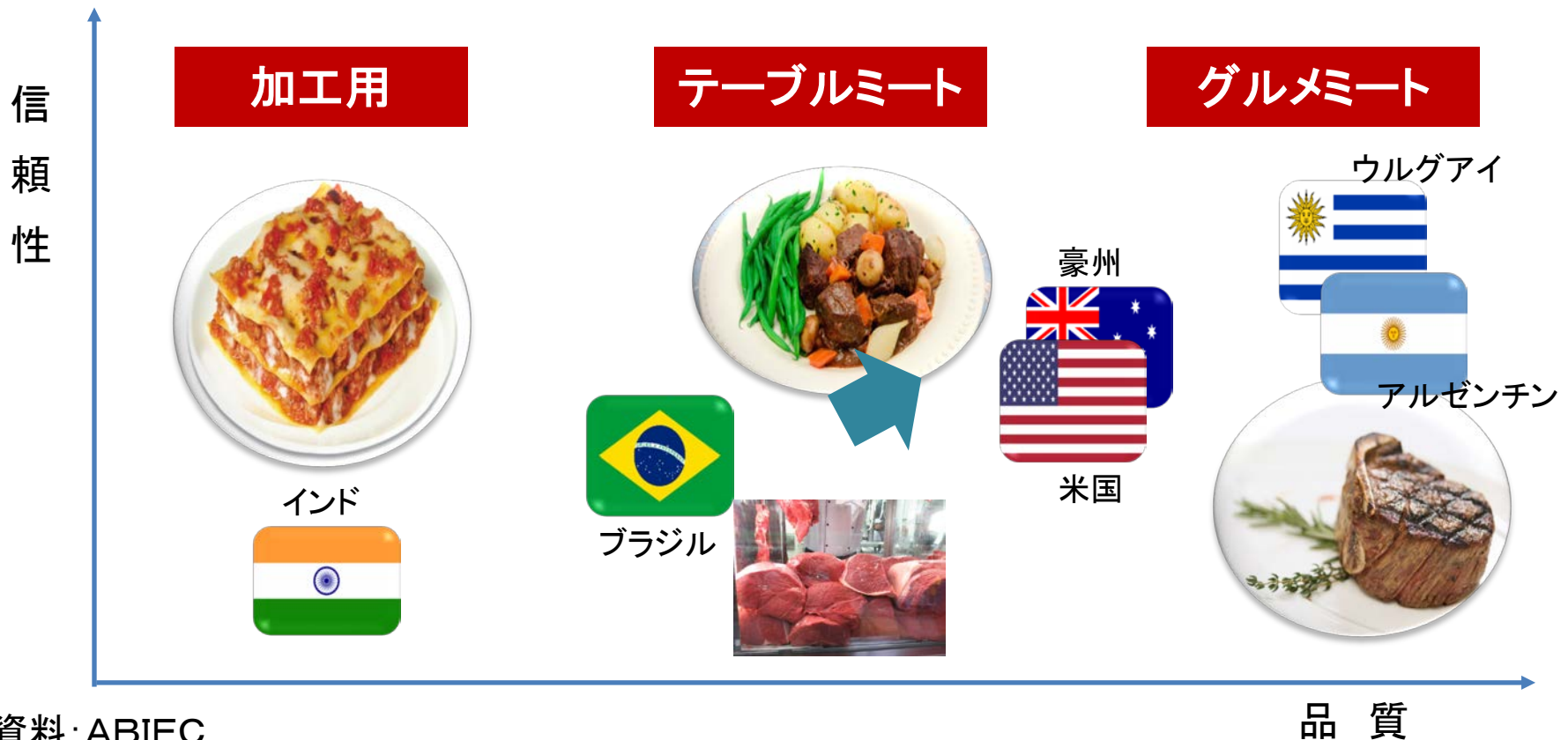




# ブラジル産牛肉のイメージ

## ポイント

- ブラジル牛肉輸出業協会（ABIEC）が行った消費者、輸出業者に対する意識調査
- 同国産牛肉は品質および信頼性が他の主要国産に劣る意識を持たれていることが判明⇒現状のイメージからの脱却を目指して、業界として改善中



資料: ABIEC

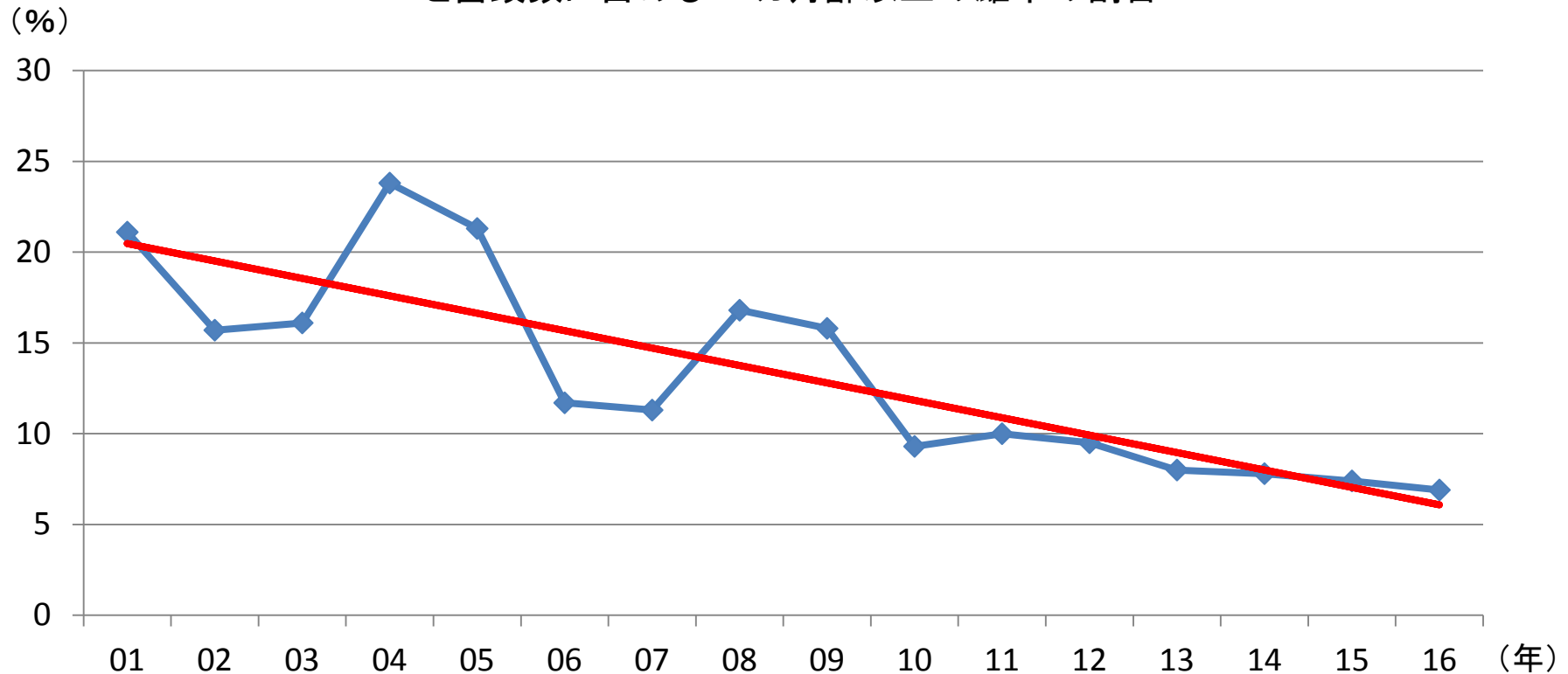
注: ABIECが調査会社を通じて、消費者や輸出業者を対象とした調査を実施。

# 肉質改善アプローチ①「出荷月齢の若齢化」

## ポイント

- 牛肉輸出業協会（ABIEC）によると、若齢化が徐々に進展している
- と畜に占める36カ月齢以上の雄牛の割合は漸減傾向
- 要因は、①輸出先のニーズ、②補助的な濃厚飼料給与で増体が加速等

と畜頭数に占める36カ月齢以上の雄牛の割合





# 肉質改善アプローチ②「増加傾向にある濃厚飼料の利用」

## ポイント

- 集約的な穀物肥育（**フィードロット**）が拡大中で、穀物主産地の**中西部**で特に盛ん
- 濃厚飼料の給与により、成長が早まり、肉質もやわらかくなる傾向
- フィードロットは、通年型のほか、牧草の生育が悪くなる乾季に限ったタイプも



1.5万頭規模の預託経営（通年型：ゴイアス州）



## フィードロットでの飼料給与



様々な濃厚飼料の主原料  
①トウモロコシ②大豆かわ  
③綿実④ひまわりかす



# 肉質改善アプローチ③「温帯種との交雑」

## ポイント

- 熱帯種は肉質がやや劣るため、アンガス種など温帯種との交雑が進展中
- 交雑による肉質改善ならびに雑種強勢で生産性向上を目指す
- 暑いエリアでも暑熱対策を講じて、アンガス種の純粋種を飼う農場も存在



ネローレ種と温帯種の交雑種  
(マツグロッソ州)



アンガス種の交雑種  
(ゴイアス州)

# 肉質改善アプローチ③ 肉用牛向け人工授精用精液販売本数

(本数)

品種別ランキング		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1	アンガス	207,982	256,657	371,574	234,825	961,442	1,176,072	1,806,425	2,338,097	2,910,997
2	ネローレ	2,333,983	1,917,879	1,646,589	1,815,178	2,291,025	2,498,025	3,017,815	3,057,464	2,698,491
3	レッドアンガス	295,642	356,749	496,610	264,326	491,371	529,456	577,527	541,091	455,589
4	無角のネローレ	370,121	270,364	239,003	264,548	245,682	203,098	258,868	263,134	223,316
5	ブラーマン	178,295	187,398	183,975	182,301	245,219	227,184	219,646	177,773	165,787
6	ブランガス	38,055	28,470	40,499	46,272	80,335	50,827	80,903	112,092	146,944
7	ブラッフォード	53,127	43,427	72,073	71,829	96,298	85,189	120,211	132,128	139,452
8	セネポール	46,660	56,611	49,719	38,113	69,067	88,219	131,518	88,593	117,750
9	タバプア	101,890	75,148	73,021	71,631	86,765	73,851	84,061	95,006	111,105
10	グゼラ	99,329	145,745	111,913	141,895	135,900	140,020	169,335	136,915	103,865
11	無角のヘレフォード	35,584	51,671	36,597	30,646	68,247	51,592	91,868	122,104	93,563
12	シンメンタール	87,417	99,865	89,252	59,793	101,891	70,627	94,306	71,509	77,026
13	シャロレー	20,874	24,051	25,966	16,523	49,963	62,780	65,495	53,907	76,607
14	レッドブランガス	52,749	63,803	53,352	65,338	53,864	56,011	65,087	58,246	71,798
15	ボンスマラ	35,700	30,184	27,151	28,666	18,526	19,709	30,483	25,431	48,103
16	リムーザン	33,364	28,810	50,145	24,509	29,005	37,605	12,832	16,352	35,939
17	Wagyu	190	1,933	5,286	5,646	13,220	12,889	15,379	34,932	29,185
その他		192,179	186,272	227,329	111,680	257,725	146,021	169,882	117,813	150,989
合計		4,183,141	3,825,037	3,800,054	3,473,719	5,295,545	5,529,175	7,011,641	7,442,587	7,656,506

資料: ブラジル人工授精協会 (ASBIA)

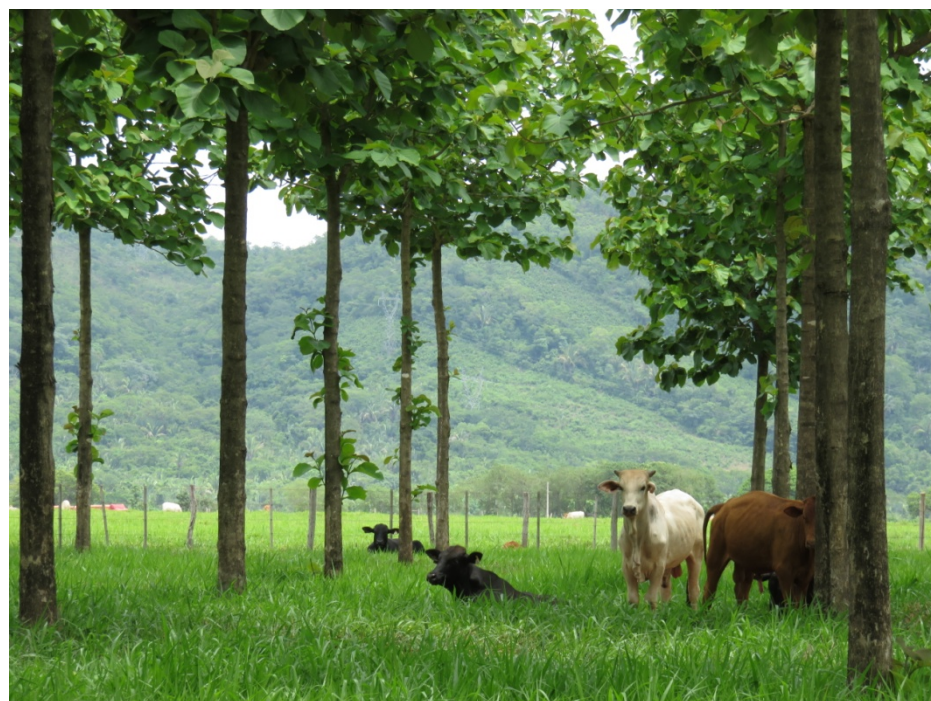
注: 輸入精液も含む。



# 肉質改善アプローチ④「農・牧・林」のインテグレーションシステム

## ポイント

- 自然林伐採が制限されるなど環境保護意識が高まる中、農牧研究公社（EMBRAPA）によって最適とされる牧草・牧畜・林業を組み合わせた方式
- 生育が早いユーカリやチークを一定間隔で植林⇒7年程度で伐採可能
- 木陰創出効果で、飼養環境改善および温帯種（交雑種）の飼養も可能に⇒肉質改善



チークの木陰で飼養される牛（マツグロッソ州）  
牧草の生育も良好で、環境にも経営にも良い



# 牛トレーサビリティ制度「S I S B O V」

## ポイント

- EUから**口蹄疫に対するリスク管理**を求められたことをきっかけに、2002年、放牧牛を含めた全ての牛を対象にS I S B O Vを導入
- しかし、全ての牛を管理するのは困難で頓挫⇒2006年7月からは**任意**
- EUなど向けには、S I S B O Vの実施が義務付けられており、生産者は**農場登録**を行い、所有する牛には**耳標**の装着が必要



SISBOVの耳標は片耳に1つずつ(大小1組)、個体識別番号は15桁

# 牛肉格付け

## ポイント

- ブラジルでは現在、公式な牛肉の格付けは**ない**（格付け目安はあり）
- 肉質に基づく値決めはさほど普及しておらず、生産者は「**質より量**」の傾向
- しかしながら、徐々に統一的な整備に向けた動きも広がっており、**最大手JB S社**等では「脂肪薄」「適度な脂肪」「脂肪過多」に大別して格付け

### ◎JBS社の格付け目安



脂肪薄

適度な脂肪厚（緑色部分）

脂肪過多

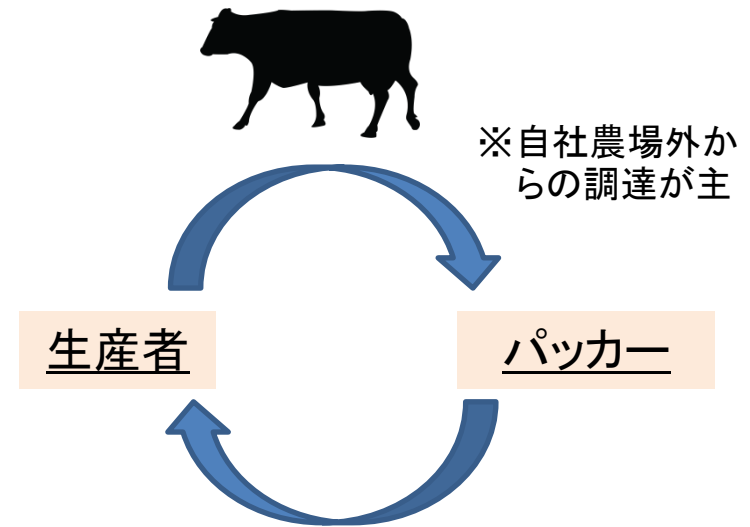
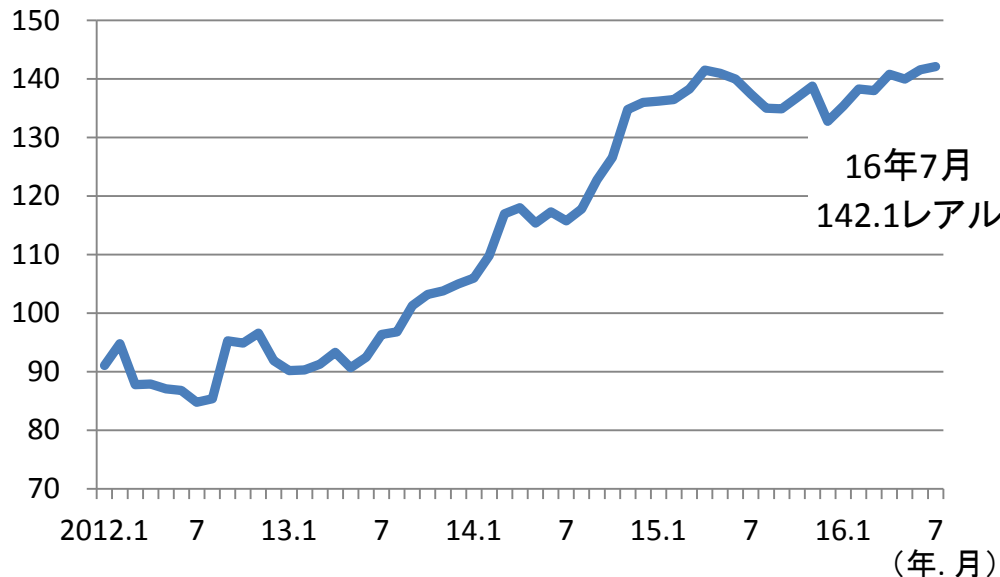
# 肉用牛価格 & プレミアム支払い体系

## ポイント

- パッカーと生産者との**相対取引**が主体で、価格交渉は**パッカーが有利**
- 輸出需要が強い中、キャトルサイクルによる生産の落ち込みで肉用牛価格は堅調
- 買取価格には、格付けは考慮されない傾向にある一方、温帯種や個体識別に対応している場合等は**プレミアム**が支払われることが多い
- Wagyuなどの高品質な牛肉を扱うのは、サンパウロ等の特殊パッカー

カンポグランジ市における肉用牛買取相場の推移

(リアル／枝肉1アローバ)



◎1アローバ当たりのプレミアム例

- SISBOVに対応(+2リアル)
- アンガス等温帯種(+2リアル)
- ヒルトン枠に対応(+2リアル)
- 若い去勢牛(+1リアル)

資料: サンパウロ大学農学部応用経済研究所 (CEPEA)

注 1: CEPEAはパッカーや生産者へ聞き取り調査を行い、公表している。

2: 1アローバは15キログラム。

3: ネローレ牛の平均枝肉重量は16アローバ(240kg)程度。



### 3. 牛肉輸出の動向



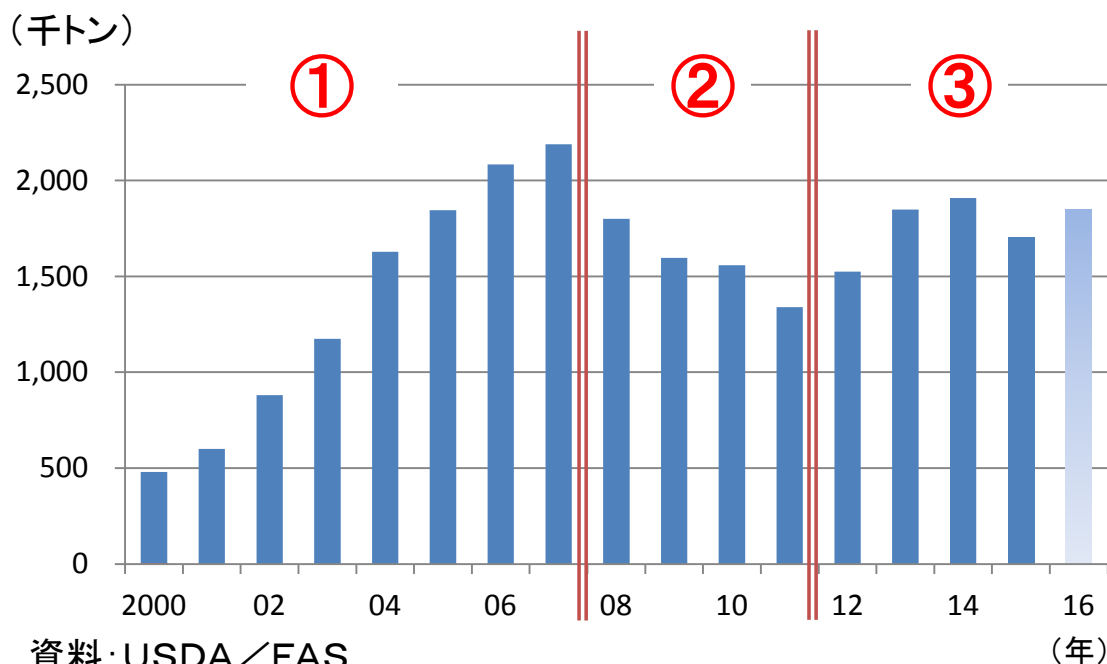
コンテナ船の様子  
(パラナグア港)

# 牛肉輸出量の推移

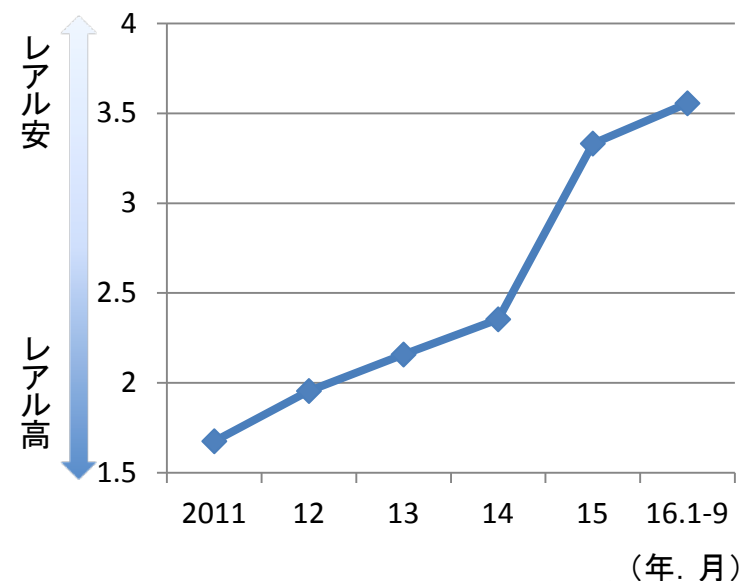
## ポイント

- ①拡大期：1999年、管理為替制度から**現行の変動相場制**に移行。**実質的なレアル切り下げ**で競争力が増す中、国際的な牛肉需要増や米国のBSE等を背景に拡大
- ②縮小期：2008年9月に端を発した**世界金融危機**の影響で主要輸入国の需要は減退、輸出も減少
- ③再拡大・多角期：2012年以降、キャトルサイクルによる伸び悩みはあるものの、**レアル安**の後押しや、米国など**新市場**獲得でより多角的に

牛肉輸出量の推移



ブラジルレアルの  
対米ドルレートの推移

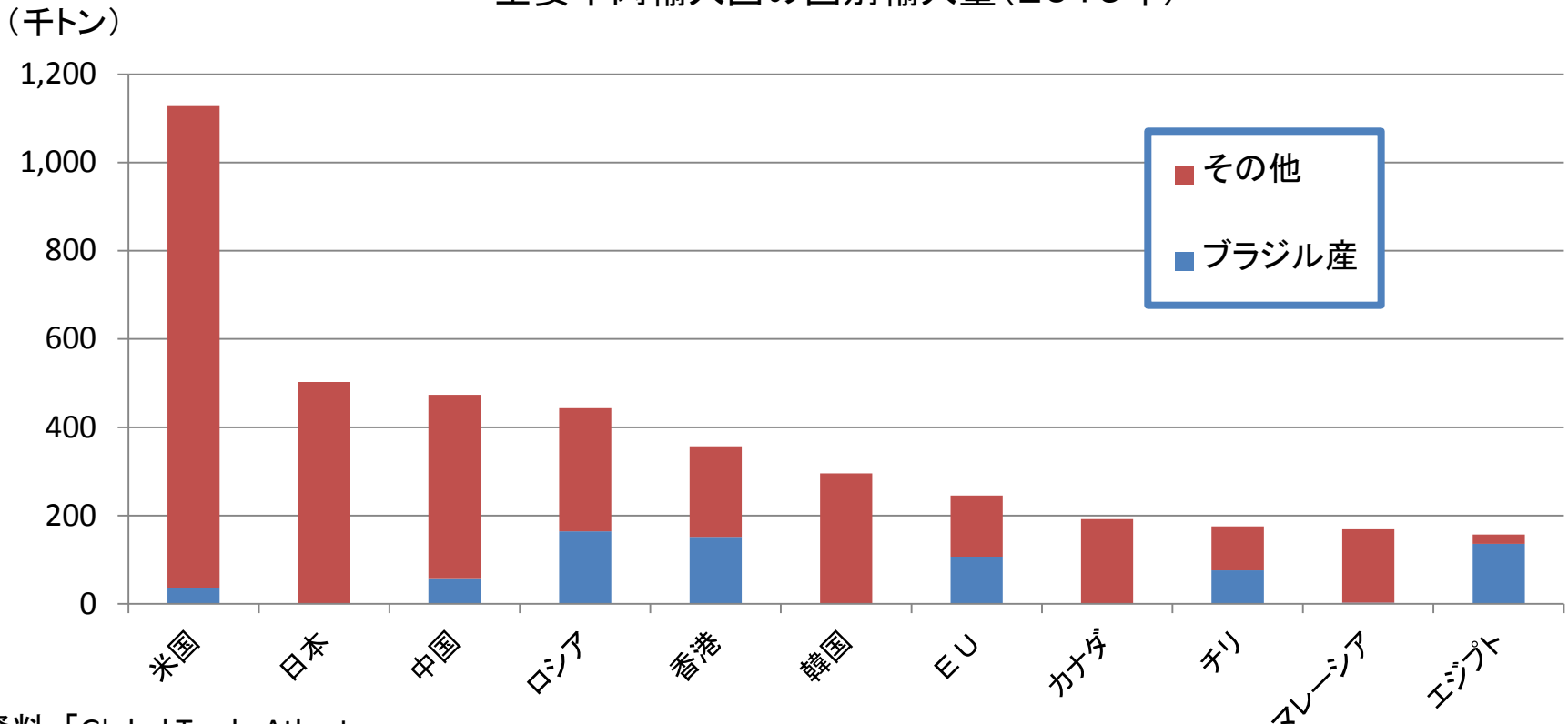


# 主要牛肉輸入国の輸入内訳

## ポイント

- 主要輸入国の輸入内訳を見ると、ブラジル産の**拡大余地**は大いに有り
- EUとチリ以外は冷凍中心
- 更なる**新市場**の獲得、輸出先の**多角化**を進めて、シェアを拡大したい意向

主要牛肉輸入国の国別輸入量(2015年)



資料:「Global Trade Atlas」

注: 製品重量ベース。HSコード0201(冷蔵)、0202(冷凍)、1602.50(加熱牛肉製品)の合計。

# 家畜衛生「疾病ステータス」

## ポイント

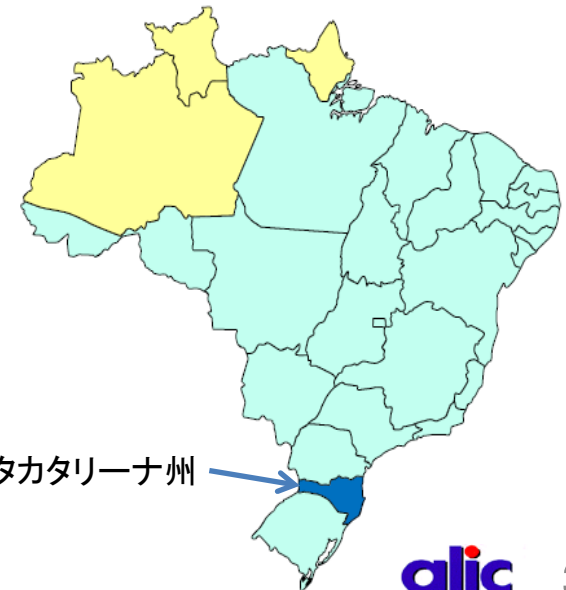
- BSEステータスは、「**無視できるリスク**」  
⇒2012年12月（パラナ州）、2014年5月（マットグロッソ州）にBSEが確認されたが、いずれも老齢による非定型とみなされステータスは維持
- 口蹄疫ステータスは、サンタカタリーナ州のみワクチン非接種清浄地域、残りは北部3州（ステータス無し）を除き、**多くが接種清浄地域**

国際獣疫事務局（OIE）のBSEリスクステータスの状況  
（2016年5月時点）

ステータス	認定を受けた国・地域
無視できるリスク （47カ国・地域）	アルゼンチン、豪州、オーストリア、ベルギー、 <b>ブラジル</b> 、ブルガリア、チリ、コロンビア、コスタリカ、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、ドイツ、ハンガリー、アイスランド、インド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、メキシコ、ナミビア、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、パナマ、パラグアイ、ペルー、ポルトガル、ルーマニア、シンガポール、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、米国、ウルグアイ、中国（香港、マカオを除く）
管理されたリスク （8カ国・地域）	カナダ、台湾、ギリシャ、フランス、アイルランド、ニカラグア、ポーランド、英国
不明のリスク （その他の国・地域）	非加盟国（無視できるリスク、管理されたリスクのいずれにも該当しない）

### 【国内の口蹄疫ステータス】

- ◎青色...ワクチン非接種清浄地域
- ◎水色...ワクチン接種清浄地域
- ◎黄色...ステータス無し



サンタカタリーナ州



# ブラジル産牛肉の輸出をめぐる近年の主な動き



	内容	備考
2012年12月7日	同国初、パラナ州で非定型のBSEを確認	多くの輸入国は、一時的に輸入を停止した後に再開。一方、 ・サウジアラビアは全ての牛肉の輸入停止を継続 ・中国は全ての牛肉の輸入停止を継続 ・日本は輸入していた加熱牛肉製品の輸入停止を継続
2014年4月	マットグロッセ州で非定型のBSEを確認	10カ国以上が一時的に輸入停止 ・サウジアラビア、中国、日本は2012年以降の輸入停止措置を継続
2015年6月4日	中国向け冷凍牛肉輸出再開	2012年のBSE確認以降停止していた中国向け輸出は、5月19日以降に認定施設で生産された30カ月齢以下で骨などを取り除いた冷凍牛肉のみ再開
2016年2月	サウジアラビア向け牛肉輸出再開	2012年のBSE確認以降停止していたサウジアラビア向け輸出について、2015年11月9日、再開見通しを発表。施設認定など最終的な手続きを経て、2016年2月に再開。
2016年8月1日	米国向け生鮮牛肉輸出解禁で合意	15年6月29日、米国向け生鮮牛肉輸出解禁見通しを発表。その後、政府間の最終的な手続きや米国業界からの反対もあり時間を要したが、16年8月1日に、17年に及ぶブラジル側の交渉が結実し輸出解禁で合意した。9月14日には輸出認定施設が更新され、同月18日には出荷が開始。
2016年9月	ベトナム向け生鮮牛肉輸出に向け、マッジ農相が直接交渉	アジア歴訪の中で近年ブラジルからの牛肉輸入を加速的に伸ばしているベトナムを訪問し、現状の生鮮輸出認定施設30施設からの増加に合意。今後、査察団を受け入れて、将来的に認定施設が増える見込み。
未定	日本向け加熱牛肉製品の輸出再開予定	2015年12月4日、日本向け加熱牛肉製品の輸出再開で合意。改正された家畜衛生条件に基づく指定加熱処理施設認定後、諸手続きを経て解禁予定。

資料: 現地情報を基に機構作成

# 主要牛肉パッカー情報（上位3社）

## ポイント

- ブラジルからの牛肉輸出は、以下の上位3社で85%程度とされる
- 国策で、国立経済社会開発銀行（BNDES）が食肉産業、とりわけ牛肉大手に対して融資を行ったこともあり、2005年以降、国外の牛肉パッカーの買収を加速

	JBS社	MARFRIG社	Minerva社
			
創業年	1953年	1986年	1957年
経営	同族経営（バチスター族）	非同族経営	同族経営（ケイロス一族）
商品	牛肉、鶏肉、豚肉、羊肉、加工品等	牛肉、鶏肉、豚肉、羊肉、加工品等	牛肉、生体牛、加工品等
国内牛肉生産	1位	2位	3位
国内牛肉輸出	1位	3位	2位
国内牛肉工場	42カ所	18カ所	11カ所
海外進出	2005年～	2006年～	2008年～
主力ブランド	「Friboi」、「Swift」、「BERTIN」	「Marfrig」、「Keystone」、「Montana」、「Tacuarembó」	「Minerva」、「Minerva Prime」
備考	世界最大の食肉生産企業	2010年に米国のKeystone社を買収	国内：輸出向け＝2：8

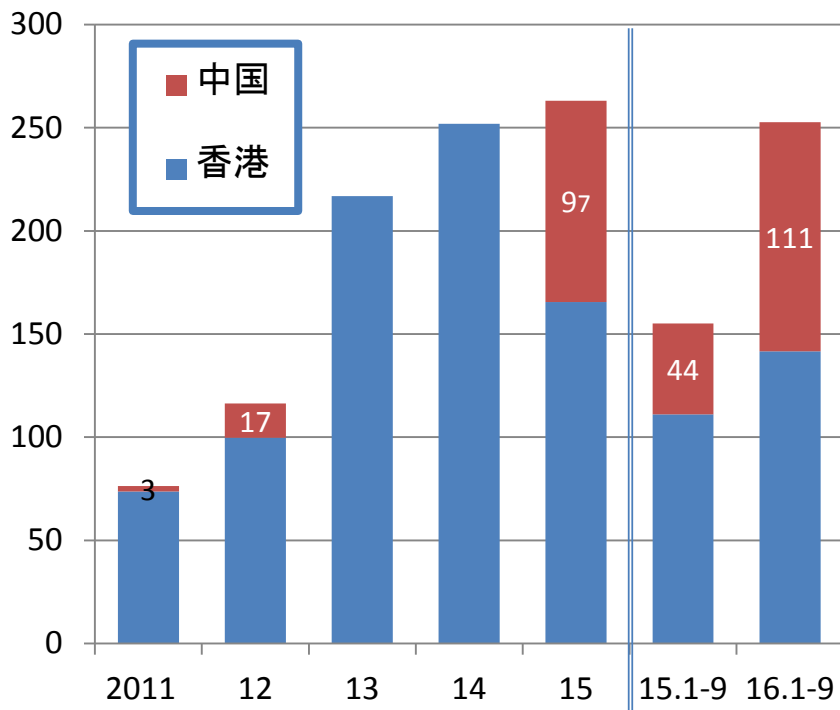
# 国別輸出①：加速的に伸びる中国向け

## ポイント

- 2015年5月19日にブラジル産冷凍牛肉の輸入を再開
- 30カ月齢以下の骨抜き冷凍牛肉で、現在の輸出認定施設は16カ所
- レアル高米ドル安基調の為替で伸び幅鈍化したが見込

ブラジルの中国・香港向け冷凍牛肉輸出量の推移

(千トン)



資料:「Global Trade Atlas」

(年. 月)

注: HSコード0202。製品重量ベース。

中国向け冷凍牛肉輸出認定施設一覧(9月23日時点)

	州	市	S.I.F 番号
JBS	マツグロツソ	Barra Do Garcas	42
	サンパウロ	Lins	337
		Andradina	385
		Presidente Epitacio	458
	ミナスジェライス	Ituiutaba	504
		Iturama	3225
	ゴイアス	Mozarlandia	4507
MARFRIG GLOBAL FOODS	サンパウロ	Promissao	2543
MFB MARFRIG FRIGORIFICOS	リオグランデスル	Bage	232
		Alegrete	2007
MINERVA	サンパウロ	Barretos	421
MATABOI ALIMENTOS	ミナスジェライス	Araguari	177
FRISA FRIGORIFICO RIO DOCE	ミナスジェライス	Nanuque	2051
BON-MART FRIGORIFICO	サンパウロ	Presidente Prudente	2121
FRIGOESTRELA	サンパウロ	Estrela D'Oeste	2924
FRIGOL	サンパウロ	Lencois Paulista	2960

資料: MAPA「Estabelecimentos Habilitados à Exportação por País」



# 国別輸出②：輸出解禁で期待高まる米国向け

## ポイント

- 17年間の交渉の末、8月1日、冷蔵&冷凍牛肉の輸出解禁で合意
- 施設認定も済み、9月18日にはMarfrig社が最初に出荷、JBS社も追随
- 米国の加熱牛肉製品市場は既にブラジル産が最大シェアを保持

米国の牛肉輸入量と関税等内訳

	国名	関税割当て数量	2015年実績		関税率	
			輸入量(トン)	消化率	枠内	超過分
NAFTA	カナダ	無制限	199,190		0%	
	メキシコ	無制限	136,104		0%	
関税割当て対象国						
	豪州	418,214	412,203	98.6%	0%	21.1%
	NZ	213,402	209,768	98.3%	4.4セント/kg	26.4%
	アルゼンチン	20,000	0	0%	4.4セント/kg	26.4%
	ウルグアイ	20,000	19,760	98.8%	4.4セント/kg	26.4%
	日本	200	183	91.5%	4.4セント/kg	26.4%
	一般枠	64,805	44,362	68.5%	4.4セント/kg	26.4%
	合計	736,621	686,276	93.2%		

資料：米国税関、米国農務省海外農業局(USDA/FAS)

注1：関税割当て数量の対象はHSコード0201、0202の生鮮牛肉。

2：2015年の豪州の関税割当て数量はWTO協定に基づく関税割当て数量(37万8214トン)に、米豪FTAによる無税枠(4万トン)を加えた数量となっている。

→ ※一般枠... ニカラグア、コスタリカ、ホンジュラスやアイルランド等と競合！！

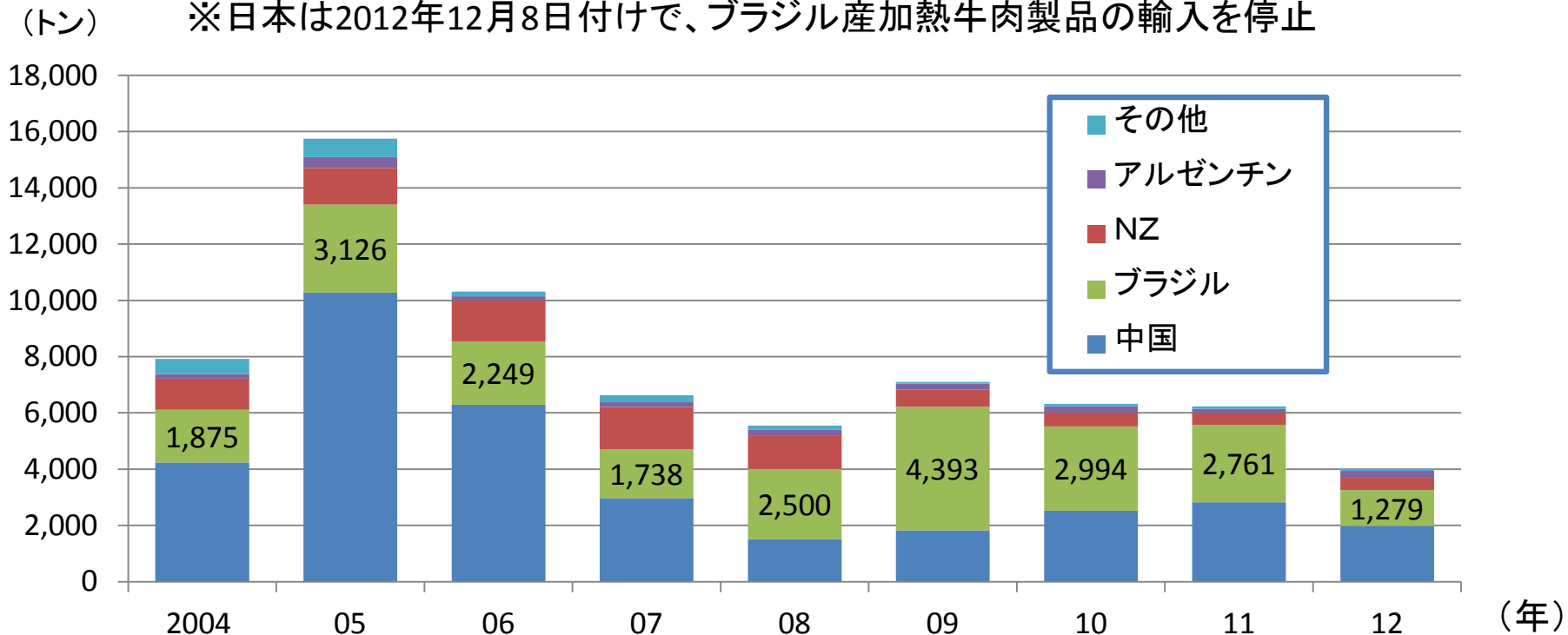
## 国別輸出③：日本向けの実績

### ポイント

- 生鮮牛肉の輸入は、家畜衛生上の観点から現在まで解禁されていない
- 加熱牛肉製品は、長年にわたって安定的に輸出されてきたが、2012年12月7日にパラナ州で非定型のBSEが確認されて以降停止

日本の加熱牛肉製品輸入量の推移(2012年まで)

※日本は2012年12月8日付けで、ブラジル産加熱牛肉製品の輸入を停止



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード160250。製品重量ベース。

## 4. 優位性と課題



牛を移動させるガウチョ



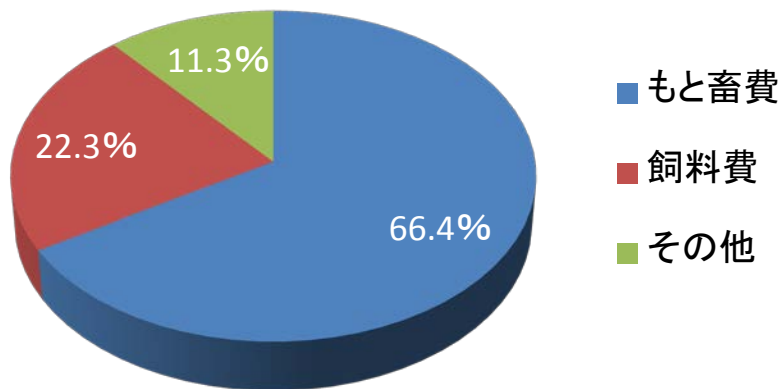
# 最大の優位性「低コスト生産」

## ポイント

- ブラジルの肉用牛生産コストは、日本の10分の1程度
- このうち、もと畜費が3分の2、飼料費は濃厚飼料原料を自給または近隣から調達可能で2割程度に低減

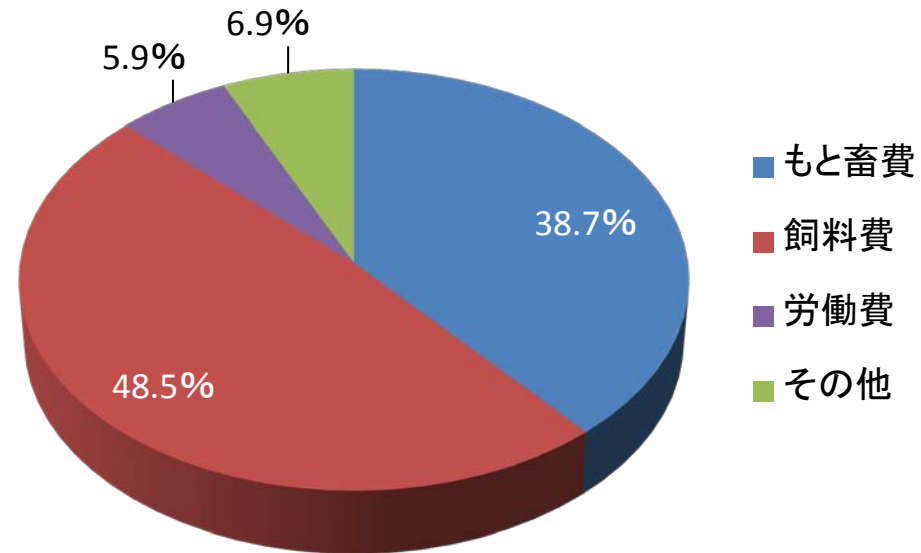
ブラジル: 2015年4～6月の  
フィードロット生産費内訳

※1頭当たり合計2,264レアル(7万184円)



日本: 平成26年度生産費調査  
(交雑種肥育牛)

※1頭当たり合計70万670円



# 最大の課題「港までの距離と輸出港の偏重」

## ポイント

- 輸送手段の多くがトラックによる陸送
- 中西部から港に運ぶ場合、片道2000kmの場合も
- ストライキや渋滞、遅延等でコストが上がりやすい
- 牛肉輸出量の約9割が南東部、南部に集中  
⇒穀物は北部からの輸出が伸びているが、食肉は…

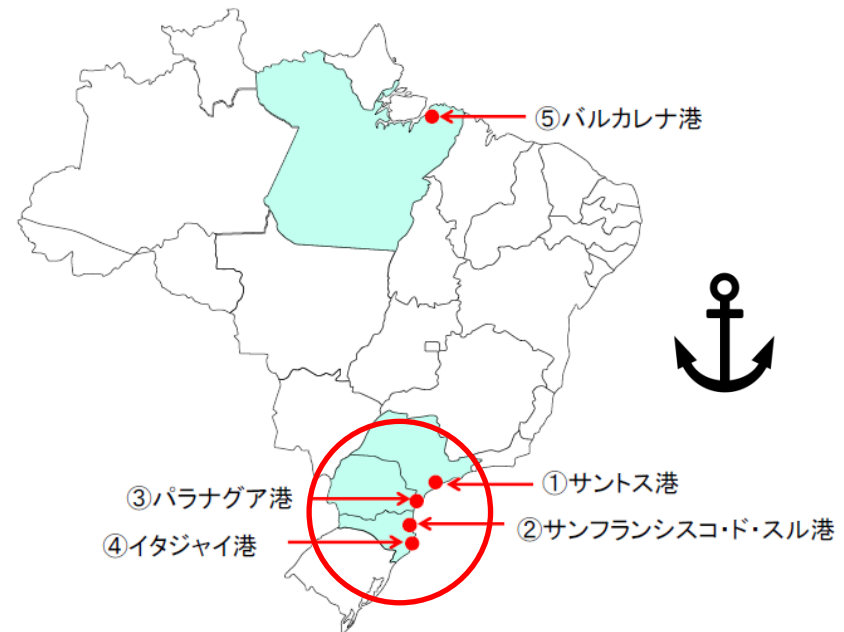


混雑する道路

## ブラジル生鮮牛肉輸出港別シェア(2015年)

輸出港	所在州	輸出量 シェア
①サントス港	サンパウロ州	44.2%
②サンフランシスコ・ド・スル港	サンタカタリーナ州	26.0%
③パラナグア港	パラナ州	11.5%
④イタジャイ港	サンタカタリーナ州	6.8%
⑤バルカレナ港	パラナ州	3.7%
その他	—	7.8%

## ☆南部・南東部港の輸出シェアは9割超



資料: ブラジル開発商工省貿易局 (SECEX)

## 優 位 性

- 広大な草地面積や豊富な飼料穀物生産による圧倒的な低コスト生産
- 単位面積当たりの飼養頭数が少ないので、**拡大余地**は大いに有り
- 輸出志向が強く、多様なニーズに応えようとする柔軟な飼養・生産体系
- 輸出牛肉のトレーサビリティ対応
- 良好な疾病ステータス

## 課 題

- 輸出港までの遠さ及び輸出港の南部偏重
- 環境規制や農地拡大に伴う草地面積の減少傾向
- 草地改善による単位面積当たりの**生産性向上**
- 牧草改善プログラムなど融資の普及
- 肉質の改善
- プレミアム体系の明確化
- 貿易協定の遅れ

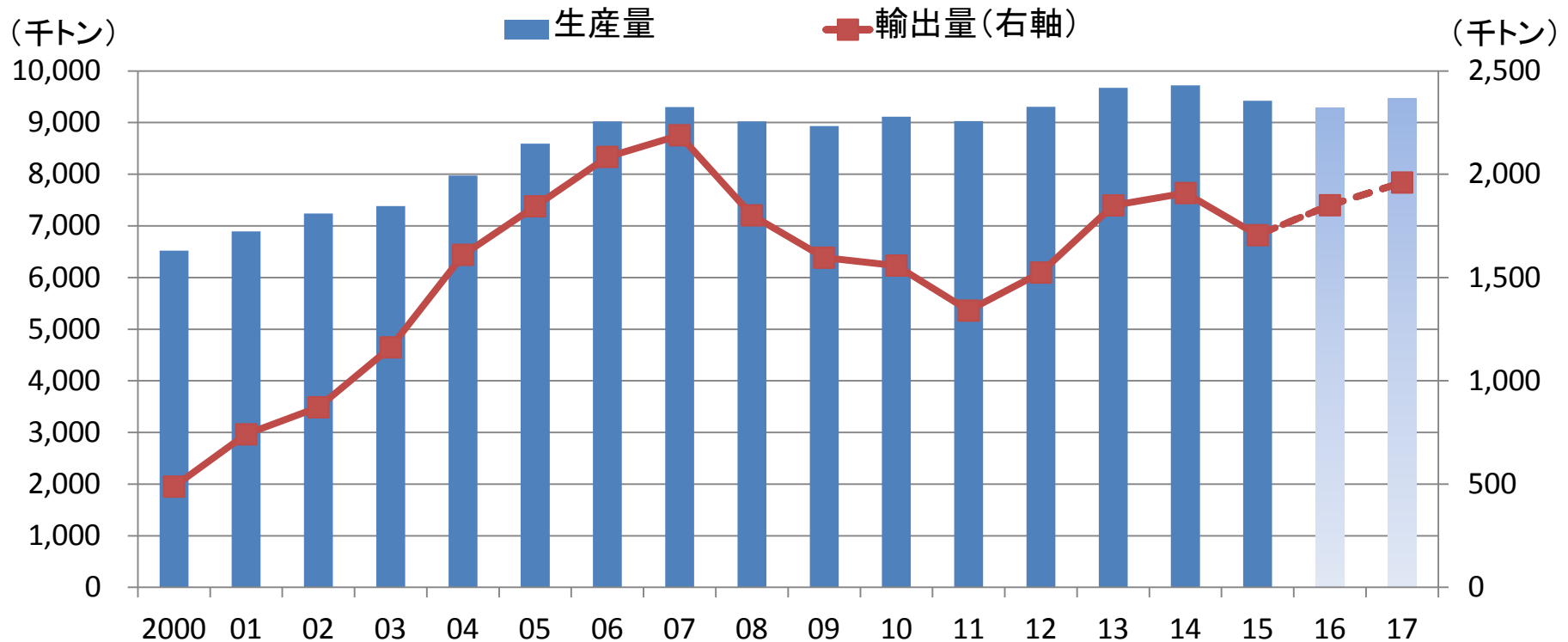


## 5. 見通し&まとめ

# 今後の牛肉生産・輸出予測

## ポイント

- 2017年の牛肉生産量は、**947万トン**（前年比**2.0%増**）の見込み
- 国内消費は前年微増、牛肉輸出量は、**196万トン**（同**5.9%増**）
- 悩みの種は「為替の不安定さ」⇒レアル高ドル安になると下振れ可能性高し
- ブラジル農務省の長期予測では**2019年**以降、増産スピードが加速



資料: USDA/FAS(2016年9月)


注: 枝肉重量換算。16~17年は推定値。



# まとめ

- 牛肉生産は、輸出需要に牽引されるかたちで、増加基調で推移してきたが、現在は**牛群再構築中**で伸び悩み
- 輸出志向の高いエリアでは、従来のブラジル産牛肉のイメージからの脱却を図るべく、粗放的な飼養管理から穀物肥育や温帯種との交雑などが進められており、**肉質改善**に向けた動きが徐々に拡大中
- 国内需要は低迷しているが、輸出は好調を維持しており、新市場の獲得も順調（**輸出先の多角化**）
- 世界的に牛肉増産可能国は限られている状況で、潜在能力が高いブラジルは、国際市場での存在感をさらに強めていく可能性が高い
- 今後のカギは生産性の向上と物流基盤の強化





ご静聴ありがとうございました。  
(マツグロツソ州ピウバ牧場の子牛)

※メールマガジンのご案内

独立行政法人農畜産業振興機構は、情報誌「畜産の情報」を毎月発行し、HPでも提供しているほか、メールマガジンにより、毎月2回（日、25日）、最新の情報を配信しています。

配信を希望される方は、機構HP(<http://www.alic.go.jp/>)右の「メールマガジン」ボタンからご登録ください。